

# 防災と社会のデザイン

～ハザードマップのデザイン～

実施責任者：林春男（防災研）  
北雄介（デザイン学ユニット）

実施協力者：牧紀男（防災研）、下境敏広・卜部謙信  
（防災デザイン研究会）他、防災デザイン研究会の方々

受講者：佐藤 那央（経営管理教育学部 経営管理専攻）  
田中 隆太（工学研究科機械理工学専攻）  
古川 孝太郎（情報学研究科・知能情報学専攻）

## 全体プロセス～「まなん」で「ためす」



学校向け教材  
記憶に残る  
参加型  
京大生  
「誰のための、どんなデザイン？」  
留学生  
外国人観光客  
興味関心

言葉の壁  
地震を知らない  
短期滞在  
「外国人観光客」  
観光地  
飛行機  
地理に不慣れ

### ディスカッション

### コンセプト

- 外国人観光客に必要な情報
  - 何が起こるか、何をするか（できなくなる事、すべき事）
  - 帰国方法
  - そもそも地震とは
  - 分かりやすい地図  
(+α: Wi-fiエリア、徒歩所要時間、病院の場所、外国人に優しいところ)
- 「分かりやすい」デザイン
  - 全面を通して言葉を少なく
  - 写真やピクトで構成
- 手にとって貰えるようなデザイン
  - キャッチコピー
  - 形

## プロトタイプ作成

すべき事

地震とは

できない事

表紙「日本からの脱出」

Information

- Wi-Fi Access Point
- Power source
- Lavatory
- Church
- Mosque
- Hospital
- International Community

★盛り込む情報

- Wi-fiエリア
- 電源
- トイレ
- 外国人に優しいところ
- 病院
- 徒歩所要時間
- 観光地

ハザードマップ

### 設置イメージ

